

# 山鹿市総合戦略の検証結果について(平成30年度)

事業名/事業費	事業内容	指標 (KPI)重要業績評価指標	地方創生への効果/その理由	今後の方針/その理由
<b>新シルク蚕業構想 推進事業</b>  事業費 16,000,000円	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 桑園からの運搬ルートの危険防止対策工事の実施</li> <li>■ WEBサイト等を通じて国内外への情報発信・PR活動の実施</li> <li>■ 遺伝子組換えカイコを活用した「光るシルクドレス展」の開催</li> </ul>	A:耕作放棄地解消面積(ha) B:新規進出企業の雇用者数(人)  (目標値) ⇒ (実績値) A: 5                    8.9 B: 5                    2	▶ <b>相当程度効果があった</b> 地元雇用がほとんどであり、市外在住だった雇用者のなかには本市に移住した者もいる。また、ここ4年間で約40haの耕作放棄地が解消された。	▶ <b>計画どおりに継続</b> 今後は、遺伝子組換え等の新技術や、大学等と連携による新たなシルク関連製品の開発等により、将来的に100名程度の地元雇用を予定。本構想を支える企業は、地域貢献を念頭に置いた事業展開を進めており、地場企業との連携、6次産業化による雇用創出などが期待されるため、今後も事業を継続する。
<b>菊鹿ワイナリー 構想推進事業</b>  事業費 24,241,200円	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 舗装、芝張等の外構工事やサイン・植栽工事などの施設整備の完了</li> <li>■ 指定管理者の運営指導や開業イベント等の情報発信</li> <li>■ 平成30年11月菊鹿ワイナリー開業</li> </ul>	A: 6次産業化企業の雇用者数(人)  (目標値) ⇒ (実績値) A: 30                    28	▶ <b>相当程度効果があった</b> 当初の計画どおり平成30年11月10日に菊鹿ワイナリーをオープン。来場者やワイン・レストランの売り上げも予想以上となっている。雇用者数は目標に達しなかったが、引き続き職員を募集。	▶ <b>計画どおりに終了</b> 当初の計画どおりに進んだことで事業を終了するが、ワイン用ブドウの生産体制の安定化や品質向上対策については、農業生産振興事業で引き続き支援する。また、ワイナリーと街中をつなぐ観光と農業の連携対策については、観光戦略プロモーション事業の一部として実施する。
<b>山鹿灯籠 ジャパブランド 構想推進事業</b>  事業費 25,266,140円	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 県内外のイベント等で幅広く山鹿灯籠のPR企画を展開</li> <li>■ ものづくりをコンセプトにしたバイヤー向けの「ててて見本市」等への出展など、新商品開発や販路開拓等</li> </ul>	A:山鹿灯籠まつりイメージ度(%) B:年間観光客入込数(人)  (目標値) ⇒ (実績値) A: 55                    53 B:4,682,000    3,795,316	▶ <b>効果があった</b> プロフェッショナル人材を活用して本事業に取り組んだことで市単独では成し得ない規模でのPR活動が展開できており、山鹿灯籠(灯籠踊り)の露出機会は確実に増えてきた。	▶ <b>取組追加等でさらに発展</b> 首都圏含む国内へのPRはもとより、2019年以降の国際大会等の開催を控えインバウンドによる交流人口拡大も見込まれる中、山鹿灯籠(灯籠踊り)が日本を代表する伝統文化・芸能として活用され、市民プライドの醸成に寄与できるような取組みの追加等で更なる発展を目指す。
<b>賑わい創出 推進事業</b>  事業費 17,693,600円	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 合宿等の宿泊費助成、山鹿灯籠踊り定期公演等の実施</li> <li>■ 着地型観光商品「山鹿あそび」の磨き上げ及び情報発信</li> <li>■ インバウンド観光推進事業(海外プロモーション・受け入れ態勢整備)等の実施</li> </ul>	A:年間観光客入込数(人) B:年間宿泊客数(人) C:1人当り観光消費額(円)  (目標値) ⇒ (実績値) A:4,682,000    3,795,316 B: 445,000    312,259 C: 14,160    11,647	▶ <b>効果があった</b> KPIは未達成ながらも、山鹿灯籠踊り定期公演や宿泊助成など観光客誘致対策の効果が表れつつあり、また、着地型観光商品「山鹿あそび」は磨き上げを行ったことで、大幅な売上増加となった。SNS等による情報発信による知名度向上も図られた。	▶ <b>計画どおりに継続</b> 観光客誘致対策については、「灯籠踊り定期公演」等を継続するとともに、福岡・熊本都市圏にターゲットを絞り、戦略的なプロモーションを展開する。さらにさくら湯周辺の賑わい創出と宿泊施設の魅力向上に取り組む。また、インバウンド観光の推進については、東アジアをターゲットとしたプロモーションや空港からの2次交通アクセス強化に向けた貸切バス等の運行を県や県北観光協議会と連携して取り組む。
<b>豊前街道の歴史的 まちなみ再生事業</b>  事業費 3,290,000円	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 豊前街道沿いの空き家・空き店舗の改修費用の補助を実施</li> <li>■ 商店街振興を目的とした空き店舗に対する家賃補助を拡充</li> <li>■ 新たな賑わいの創出に関わる人材育成</li> </ul>	改修物件における A:事業者数(件) B:来訪者数(人)  (目標値) ⇒ (実績値) A: 3                    2 B: 12,600    4,384	▶ <b>効果があった</b> 空き家・空き店舗の改修補助を活用し2件の飲食店が開業した。1件が福岡から移住者、もう1件が市内の若者による開業であり、移住定住や雇用創出に繋がっている。また、今後の賑わい創出に関わる人材の育成に取り組んだ。	▶ <b>計画どおりに継続</b> 引き続き改修費補助や家賃補助により開業支援を行い、豊前街道沿いの賑わい創出を図る。補助制度について市内外に向けた周知を行い、新規事業者の掘り起こしに努める。